

# 留学生の声

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾湘南藤沢中等部 2年
留学先校名	Fay School
留学期間	2019年9月から 2020年6月まで

## どのようなことを期待して渡航しましたか？

多様性の豊富な環境で寮生活をし、世界各国からのクラスメイトから常に刺激を受けながら学ぶことを期待していました。また、アメリカの歴史や文化を学ぶと共に、母国である日本文化を知ってもらい、特に部活である弓道の話をしたと思っていました。ファミリースタイルディナー、スピリットデー、スピーチコンテストなどのFayの伝統行事にも興味があり、このようなイベントを通してたくさんの繋がりを作り、視野を広げたいと思いました。

## 留学を振り返って

期待と想像をはるかに超える充実した日々で、様々な学習と経験から興味や視野が広がりました。生活面では、毎日朝食から消灯までタイムスケジュールが決まっているので、健康的に規則正しく過ごすことが出来ました。勉強だけではなく、平日放課後毎日行われるスポーツ(部活)や週3~4回のバイオリンの練習などバランス良い生活ができました。平日は宿題やプロジェクトで忙しいですが、週末には寮の友人とボストン市内に行ったり、スリープオーバーをして多くの思い出を作ることができました。

良い点：

- 自分のアイデンティティを明確に知るとともに、クラスメイトのアイデンティティについても知ることができ、新たな気づきと友達との繋がりが深まった。
- 新しいことに挑戦できる環境で、初めて挑戦したスポーツや美術などに没頭し、活動できた。
- 多くの先生がキャンパスに住んでいるので、自然と仲が良くなり、授業時間以外でも質問を聞きに行けた。
- 寮が本当にアットホームで、セカンドホームになった。とても賑やかで楽しく、一緒にいると落ち着く人ばかりだった。
- 日本人として自信を持ち、他の国の友達に日本の文化や伝統を説明できるようになった。
- ディスカッションやパブリックスピーキンが多かったことから、英語力が上達し、自分の英語能力に自信を持てるようになった。
- ディナーや寮など、日常的な会話の中で母国の文化や伝統、流行りの話題で盛り上がる事が多く、自然な流れで話題を提供したり、聞く姿勢も意識できるようになった。

## 課外活動は何をしていましたか？

～New York Service Trip～

10月に5泊6日でニューヨークへ行きました。このサービストリップの目的は、ホームレスや貧しい方の手伝いを通して自分が衣食住に恵まれた環境にいることに改めて感謝し、恵まれない環境にいる方をサポートする重要性を学ぶことでした。また、Fay Schoolが大事にしているCore Values(academic excellence, honorable conduct, **dedicated service**, earnest effort, and wellness of mind body and spirit)の一つでもありました。

ホームレスの方のディナーを作ったり、一緒に食事をして会話やゲームを楽しんだり、犬を飼っている貧しい方々にドッグフードを配布したり、で十分な教育を受けられない子供のチューターをするなど、たくさんの貴重な経験をする事ができました。自分のいる環境に改めて感謝し、Empathyを持つこと、助け合いの精神を学びました。

～Primary School P.E. Helpers～

Study hallという週に何回かある空きコマを費やして活動するボランティアでした。私は、1st gradeの体育を担当し、主に手伝い、片付け、生徒を落ち着かせる役割などをしていました。Fay Schoolの低学年の生徒とたくさん交流を持つことができ、コミュニティーの一部であるという意識が芽生えました。

～Ice Hockey (winter term)～

Fay では”Everyone Plays.”というスポーツコースのモットーの下、全生徒が放課後にスポーツを部活としてタームの一つ選び、平日は毎日活動していました。Winter Term は、日本では滅多に体験できない北部ならではのウィンタースポーツに挑戦してみたいと思い、Ice Hockey を選びました。放課後毎日の活動で、週に二回試合がありました。初心者でしたが、チームメイトやコーチの方々のサポートのおかげで、予想以上に上達してたくさんの良い思い出を作ることができました。

### 授業について

クラスは最大 16 名の生徒に対して先生一人で授業が進みます。8th の授業は美術と音楽以外は履修するものが全て決まっており、9 教科の授業を受けました。科目数が少ない分、一つを深く学び、極めるような感じがしました。また、日本のように先生の話聞きながら黒板を見てノートを取る授業は全く無く、ディスカッションや自分で行動するアクティビティを中心としていました。

#### ～Literature and composition～

人種、LGBTQ+、民族、社会階級をトピックとする課題本を読み、深く分析をしてディスカッションをする授業でした。母国とアメリカを比べながら理解を深めるものだったので、お互いを刺激し合いながら学びました。先生はこの分野のプロフェッショナルで、全て聞き逃したくないくらい興味深い話をしてくださいました。私はこの先生に出会えたことで視野が広がり、新しい分野に興味を持つきっかけになりました。私が一番好きで役立つ授業でした。

#### ～Inquiry and analysis～

Lit and Comp とも繋げて、よく自分のアイデンティティについてエッセイを書きました。スピーチコンテストや Skull Essay もこの授業で書きました。

#### ～Physical Science～

Fall Term はコーディング、Winter Term は物理、Spring Term は化学でした。特に苦戦したのがコーディングで、ゲームやカレンダーを作るプロジェクトが大変でかなりの時間を費やしました。Arduino や Processing などを扱い、今の時代に最も役立つ授業だと思います。先生は論理的思考と解決能力をつけるために、常にオリジナリティのある授業を提供してくれました。

#### ～American History～

年間テーマの IDENTITY とタームごとのテーマに繋げてディスカッションやプロジェクトを進めました。先住民族への Oppression の話から Civil War まで順番に習い、定期的にミニテストを行いました。

### 宿題について

宿題は毎日かなりの量が出ました。Winter Term は Fall Term より量が多く、本当に多い日はドームメイトと夜中まで起きて終わらせることもありましたが、ただ、夕食後の夜 7 時から一時間半ほど Study hall (自習時間) があり、空きコマでも宿題ができるので、集中して計画的に終わらせていました。

### リモート学習について(春学期)

授業は、時差があるので、たまにあるライブクラスと Morning Meeting, Dorm meeting 以外は全て録画された先生のビデオか Google Document などを読んで進める課題でした。

主要 5 科目は、各教科二日に一回出る課題に合わせて、毎週数回 Zoom の Drop-in がありました。課題は、対面授業で出される課題の 2～3 倍でしたが、それでも例年の春タームよりは少なかったようです。課題提出は全て Google Classroom で済ませられたので、思ったよりシンプルで簡単でした。Drop-in は質問タイムのようなもので、メールだけだと課題の質問は難しいので、とても便利でした。また、質問だけではなく、たまたま同じ時間に多くの生徒が集まると一緒にゲームや授業以外の話題を楽しみ、遠くにいても繋がりを保つ工夫がされていて安心しました。

他にも、リモート学習に慣れてからは 2 週間に一回ほどライブクラスがありました。ライブクラスは、全ての生徒が参加できるように時間帯が考慮されていました。あまりディスカッションは行わず、対面授業に似た感じで進みました。

実技を行う科目では、帰国前とは違うアクティビティをしました。例えば、Music ではコンサートの曲の鑑賞をしてレポートを出したり、自分の好きな曲を絵に描いて表現する課題などがありました。バイオリンは個別で練習していました。また、Creators と Art は、自分が課題に沿って作った作品の写真を撮り、提出する課題がありました。Wellness は自粛期間中のメンタルヘルスを健康に保つため、先生が簡単なエクササイズの説明ビデオを投稿してくれました。

### 今後の派遣留学生へのアドバイス

留学前は、日本文化や歴史、社会問題を学び、他の国の生徒に伝えられるように準備しておくが良いと思います。ディナーや授業中、友達との日常会話でも常に母国の話をする機会があるので、母国のことをしっかり自分の言葉で伝えられることはとても重要です。授業の中でも日本の歴史や社会問題の話題がよく出ましたし、日常会話では日本の食べ物の話題で盛り上がりました。

私は初めの数週間は積極的に友達を作ったり、先生と会話をしたり、他には学校や寮生活に慣れることに集中しました。英語の上達やその他勉強は留学生活の中でいつでもいくらでもすることができますが、第一印象は初めの数週間で決まります。第一印象が良いと、その後もたくさんの友達ができて楽しくて充実した生活が送れるようになるので最初が肝心だと思います。

留学期間はあっという間に過ぎ、全てが貴重な経験です。素晴らしい出会いの中で、先生や友達、クラスメイトからたくさんの刺激を受けながら、自分も何か少しでも影響を与えたり、印象に残るような存在になれるように意識することは大切です。そして、何でもチャレンジできる環境なので、新しいことに挑戦すると良いと思います。

留学生生活を思いっきり充実させて最高のものにしてください。

以上

